

## 環境白書の発刊に当たって



私たちは、母なる地球に守られて生きています。しかし、今、地球環境の劣化が進み、このままでは将来の世代の生存も危ぶまれる状況にあります。その原因はどこにあるのでしょうか。大量生産・大量消費・大量廃棄の社会経済活動によりもたらされた便利で豊かな暮らしが、地球への負荷を増大させ、環境や自然に大きな歪みを生じさせてきているのです。

昨年、日本列島は記録的な猛暑に見舞われ、各地を豪雨や台風が襲いました。京都府内でも台風23号の直撃を受け、府民生活や社会基盤に甚大な被害が発生しました。世界各地でも、異常気象による災害が頻発しており、その原因の一つは、地球の温暖化による気候変動にあると考えられています。私たちがこの地球で将来にわたって生存を続けていくためには、身近な自然の喪失や廃棄物問題など、様々な要因と現象が複雑に絡み合った環境問題を解決し、自然や環境と共生する、持続可能な社会を構築していくことがますます重要となってきているのです。

そうした中で、本年2月には、地球温暖化防止のための国際的なルールである「京都議定書」が発効し、世界が議定書に定められた目標達成に向けて大きく動き始めました。京都府は、議定書誕生の地としての誇りと気概をしっかりと持ち、美しい地球を守り育てるための取組を更に進めていかなければならないと考えています。

そのため、府政の基本である府民の安心・安全を守るとともに、豊かな自然・文化を活かした「人・間中心」の京都府づくりの理念のもとに、「地球温暖化対策プラン」による実効性のある脱温暖化の取組をはじめ、循環型社会形成計画に基づく廃棄物・リサイクル対策、新エネルギーの普及、自然と環境にやさしい「『環』の公共事業」や「緑の公共事業」の推進など、様々な取組に一層の力を注いでまいります。

この白書は、京都府の環境問題解決に向けての取組を広く府民の皆様に御紹介するとともに、環境の大切さについてもう一度見つめ直す契機としていただくために発刊するものです。多くの府民の皆様に御活用いただき、一緒に環境を守り育てる取組を進めていただきますことを心から願っています。

平成17年3月

京都府知事 山田 啓二